

学習状況診断票(社会) 中学校 第2学年  
2年 組 番 氏名

領域	問題番号			出題の意図	評価の観点			
	大問	小問	通番		思考・判断	観察・資料活用・表現	知識・理解	
地理的分野	1	1	1	地図やグラフからアメリカの自然環境の特色を正しく読み取ることができる。				
		2	2	アメリカの農業の特色について、一人あたりの農地面積や機械の保有台数から読み取ることができる。				
		3	3	グラフや文章から、オーストラリアの人々の様子について読み取り、簡潔にまとめることができる。				
		4	4	フランスの貿易の特色について、複数のグラフを関連付けて考え、判断することができる。				
		5	5	中国の工業の変化について、グラフから工業製品の生産が増えていることを読み取り、増えてきた理由を国の政策と外国企業の進出から考えることができる。				
	2	1	(1)	6	気温や降水量の変化のちがいがから、日本の気候の地域差を考えることができる。			
		1	(2)	7	地形や他の自然条件による影響から太平洋側と日本海側の気候に違いを生み出している原因を正しく理解している。			
		2	(1)	8	面積の数値をもとに、日本の国土のうち「山地と丘陵地」が占める割合を計算し、グラフにあらわすことができる。			
		2	(2)	9	日本と世界の川を比較し、長さや傾きの違いから日本の川の特徴を考えることができる。			
		2	(3)	10	川の働きによって作り出される地形について、地形図をもとに理解している。			
歴史的分野	3	1	11	江戸時代の外国とのかかわりについて、時代の大きな流れのなかで考えることができる。				
		2	12	グラフ資料の百姓一揆や打ちこわしの発生件数の変化から、江戸時代の農民の様子を読み取ることができる。				
		3	13	江戸時代の文化について、その特徴と主な作品について正しく理解している。				
	4	1	14	大政奉還が行われた場所を、地図を活用して適切に示すことができる。				
		2	15	近代化を進めた明治政府の政策の内容にあてはまる資料を、絵や写真資料のなかから選択することができる。				
		3	16	自由民権運動とは、言論により国民の参政権の確立を目指したものであることを理解している。				
		4	17	大日本帝国憲法が制定され、天皇が元首として国を治めていくしくみについて、大日本帝国憲法の内容やしきみを示した図から読み取ることができる。				
		5	18	日本の産業の近代化の中心となった製糸業で働く人の様子を理解している。				
		6	19	近代日本の歩みと深いかかわりのある中国の王朝名を正しく理解している。				
		7	20	日露戦争のおもな戦場が中国や朝鮮半島となった理由を、帝国主義による列強のアジア進出と三国干渉をめぐる日本とロシアの対立という点から考えることができる。				
					16	18	16	

今後の学習に向けて 自分が頑張りたいところに を付けたり、下線を引いたりしましょう。

「思考・判断」の力を身に付けるために	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グラフや資料から分かることをはっきりさせ、課題を解決するためにそれらをつないで考えるようにしましょう。</li> <li>・「できごとがおきた要因」や「その影響、社会の様子や変化」などを、複数の視点から考えることを大切にしましょう。</li> <li>・家庭においては、学校で学習した内容をもとに、歴史の移り変わりから今の生活を見つめたり、さまざまな地域と身近な地域を比較したりして、自分が考えたことをまとめてみましょう。</li> </ul>
「観察・資料活用・表現」の力を身に付けるために	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地図や資料などを活用するときには、課題を明確にもち、「タイトル」「単位や項目」「数値の変化」「大事な言葉」「人々の動き」などの視点から、読み取るようにしましょう。</li> <li>・時代の特色を示す年表をついたり、統計図表をもとにグラフを作成したりするなど、地図化、資料化することに取り組んでみましょう。歴史上のできごとの場所を地図で調べるなど、歴史と地理で身に付けたことを生かすことも大切です。</li> <li>・家庭においては、ニュースや新聞等で見たり聞いたりした地名や歴史的な出来事を、地図や地球儀、年表等で調べて、その位置や意味を確認しましょう。また、外出する際、地図を活用して、目的地までのルートや距離を確認することに挑戦してみましょう。</li> </ul>
「知識・理解」の力を身に付けるために	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域的特色をとらえるための視点や方法を身に付け、わかったことをはっきりさせていく学習を大切にしましょう。</li> <li>・年表や時代の特色を示すカードをつくるなど、その時代の様子やその時代を生きた人の姿を明らかにして、歴史の大きな流れと各時代の特色を理解することができるようにしましょう。</li> <li>・家庭においては、休日などに博物館や調べてみたい場所に行き、実物、具体物など多様な資料に親しんだり、人とふれあったりしてみましょう。また、新聞記事やテレビの映像、インターネットなども活用し、興味・関心をもったテーマについて進んで調べてみましょう。</li> </ul>